



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和3年 如月1日

第19号

校長 矢野 晴一

学校教育目標:「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

「苦渋の決断！ 今は我慢のとき」 修学旅行見送りについて

保護者のみなさまに、たいへん残念なお知らせをしなくてはなりません。

2月3日（水）～5日（金）に予定しておりました、2年生の修学旅行につきまして、緊急事態宣言の発令および現在の感染症拡大状況を鑑みて、「年度内の実施を見送る」という決断をいたしました。

これまで、修学旅行の実施をみすえ、できる限りの予防対策を講じてまいりました。何より、真剣に論議を重ねて準備をしてきた子どもたちのことを思うといたたまれない気持ちでいっぱいになります。

しかしながら、日々報道される事態の重さを考えると、苦渋の決断ではありますが、今は我慢のときだと判断いたしました。子どもたちには、1月13日（水）、帰りの会の時に私から直接伝えました。

つらい決断でしたが、子どもたちは子どもたちなりに現在の状況を理解してくれて真剣に話を聴いてくれました。

子どもたちの大切な思い出を奪ってしまったような状況に心が痛みますが、決してあきらめようとは考えていません。これから形は変わるかもしれませんが、時期や内容、そして状況をにらみながら、必ず子どもたちの思い出づくりの場をつくりたいと決意しております。

なにとぞご理解のほどお願いいたします。

「安心して入学してくることができるように！」

新入生 入学説明会 開催

堂々と 安心伝える 先輩に
あこがれ抱き 期待ふくらむ

晴一

例年は一日で開催していた6年生を迎えての「**新入生説明会**」を、感染拡大予防のために、1月20日（水）に東野小、21日（木）に大原小と、の二日間にかけて開催いたしました。

みなさんが毎年楽しみにしておられた「中学生の合唱披露」が中止になる等、プログラムの変更を余儀なくされましたが、できることを見出しながら部活動の体験まで無事に行うことができ、胸をなでおろしております。

ずっと「開催できるだろうか」「開催してもよいのだろうか」と、ずっと迷いながらでしたが、6年生の子どもたちが**安心して入学してくることができるようにするために必要な会**だと考え、実施することにいたしました。

新しくリーダーとなった2年生の子どもたちは、具体的な学校生活について堂々と説明し、それを6年生の子どもたちが真剣なまなざしで聴いている姿を見たときに、2年生の子どもたちが何となく大きく見えました。リーダーたちの成長が感じられて、とても大きな感動を覚えました。

説明と学校見学を終えたあと、部活動体験を行いました。30分という短い時間でしたが、戻ってきた6年生の**子どもたちの笑顔**をみて、4月がますます楽しみになってきました。

会を安全に開くために、これまでの準備など、みえないところで支えていただいたみなさまに厚くお礼を申し上げます。

「仲間とともに全力で！」 筑後地区新人駅伝競走大会 開催

1月14日(木)、大牟田市の諏訪公園周回コースにて中体連筑後地区新人駅伝競走大会が開催されました。

厳しい寒さの中、子どもたちは、自らのもてる力を精いっぱい出し切って駆け抜けることができました。**女子が総合7位、男子が総合16位という大健闘の結果**でした。

制限のため、大きな声での応援や競技中の写真撮影等はできませんでしたが、襷をつなぐためにふんばる子どもたちの姿に感動を覚えるとともに、夏休みから始まったこれまでの練習の日々が思い起こされ、胸が熱くなりました。つらいこともたくさんあったと思いますが、仲間とともに日々努力を続けてきた姿は、まさに「積小為大」といえると思います。

これからも、「子どもたちの積小為大の取組」を応援していただきますようお願いいたします。

「最上級生に向けての決意！」 2年生 全体合唱

1月26日(火)、聴こえてきたすてきな歌声に誘われて体育館に行ってみると、2年生による合唱の全体練習が行われていました。

体育館いっぱい広がって、整然と間隔をとって並んで歌う姿は壮観で、大きな感動をともなって私の目にうつりました。

合唱にこめられた、「これから大原中をリードしていく私たちの決意を目と耳と心に焼きつけてください」という子どもたちからのメッセージを心にしっかりと受けとめることができました。



「生徒会の充実のために！」 専門委員会後のふりかえり

1月28日(木)、生徒会の専門委員会が行われましたが、終了後に生徒会室では、リーダーたちによる「**振り返りの会**」が行われていました。自分たちの生徒会活動を充実させるために、活動内容を伝え合ったり、アイデアを出し合ったりしていました。

私は、先日の職員会議で、「**PDC(チェック)A**」ではなく、「**PDS(振り返り)A**」を大切にしていきたいと提案したのですが、生徒会のこの取組は、まさに「**PDSA**」の「**S(振り返る. 検討する)**」を大事にした取組だと感じて、うれしくなりました。「できているか」のチェックも大事だと思いますが、ぜひ「**これでよかったのか**」を考え検討することを大事にしてほしいと願っています。



小さいけれど大きな感動 …その20 「地域に貢献しています！」

1月24日(日)の朝、大保原区の公民館を訪ねてみると、地域のみなさんとともに活動している子どもたちの姿に出会いました。

そこで中学生の役割は、リヤカーを引いて高齢の方のお宅をまわり、空き缶等を回収してまわるというもので、平成28年から続けてある活動だそうです。

私も、子どもたちといっしょにまわらせてもらいましたが、活動中はずっと「**ありがとう**」の言葉であふれており、とても温かい気持ちになりました。

今、地域社会でのつながりの重要性が指摘されていますが、中学生の子どもたちが自分たちの地域のために主体的に活動に参加していることに、あらためて「**すてきなことだなあ!**」と感動を覚えました。

特別なことではなく、なにげない日常の中で地域に貢献している子どもたちに、心から拍手を送りたいと思います。

